

平成 25 年第 11 回県教育委員会会議 報 告 事 項 (3)

生涯学習振興課

1 報 告 事 項

平成 25 年度人権教育指導者研修会

2 事 項 の 説 明

- (1) 趣旨：社会教育、社会福祉、学校関係者を対象とした人権教育の実践的研修をとおして、人権に関する今日的な課題に対応できる指導者としての資質向上を図り、各現場における人権教育の新たな展開につなげる。
- (2) 主催：沖縄県教育委員会
共催：那覇地方法務局
沖縄県人権擁護委員連合会
- (3) 対象：学校教育関係者、社会教育行政関係者、社会教育委員、社会教育主事、社会教育団体関係者、民生委員、児童委員、保育士、福祉関係者
- (4) 期日：平成 25 年 7 月 26 日（金）13:30～16:30
- (5) 場所：宜野湾市立中央公民館（宜野湾市野嵩 1-2-2）
- (6) 研修内容
 - ①基調報告
沖縄県教育庁生涯学習振興課
 - ②実践報告報告
テーマ：「若者の自立に向けて」～地域若者サポートステーションの取組について
講師：墓目 崇 氏（ひきめ たかし NPO 法人なはまちづくり総括コーディネーター）
- (7) 報告の概要
職業的自立について課題や悩みを抱える若者やその家族を支援する厚生労働省の委託事業である地域若者サポートステーションについての説明とその活動が紹介された。過去のいじめや発達障害などを背景にニートやひきこもりの状態にある若者を地域の学校や公民館、老健施設等と連携して社会参加を促し、自立へと向かわせる実践が報告された。その中で、真和志高校の一教室を使って中途退学の予防を目的とした取組にも言及した。
- (8) 参加人数 178 人
- (9) アンケートより
 - ・真和志高校での中途退学の予防の取組はよかった。様々な団体が様々な取組を行っているということを初めて知り、驚いた。
 - ・ニートやひきこもりの背景には、いじめや発達障害などがあり就労以前に若者の自信を持たせるといふ取組がよかった。
 - ・様々な機関が連携して若者の支援を行っているという取組は素晴らしい。